

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 富田 芳男
(コード番号 4047 東証第 1 部)
問合せ先 人事総務部専任部長 浦本邦彦
(TEL. 03 - 3216 - 4561)

個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 17 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,900	1,750	900
今 回 修 正 予 想 (B)	17,000	2,550	1,300
増 減 額 (B-A)	△900	800	400
増 減 率 (%)	△5.0	45.7	44.4
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月中間期)	14,913	898	△2,243

2. 平成 19 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	38,000	5,000	2,700
今 回 修 正 予 想 (B)	36,800	5,600	3,000
増 減 額 (B-A)	△1,200	600	300
増 減 率 (%)	△3.2	12.0	11.1
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	31,975	3,801	△446

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 51 円 65 銭

3. 修正の理由

当中間期の売上高につきましては、基礎化学品事業部門はほぼ計画どおりとなる見込みです。精密化学品事業部門のうち特殊ガス類については、三フッ化窒素、六フッ化硫黄は、液晶の生産調整の影響を受け、売上は計画を若干下回りますが、六フッ化タングステン等その他のガスは計画どおりの売上となる見込みです。電池材料や液晶材料の売上は、計画を下回る見込みです。

一方、売上原価につきましては、コストダウンの効果および減価償却費の減少等により計画を大きく下回る見込みです。

また、渋川工場基礎化学品事業のシクロヘキシルアミン類は、収支改善が見込めないことから平成19年9月に撤退することとし、減損損失約2億円を当中間期に計上します。

下半期につきましては、半導体は引き続き好調を維持し、液晶の生産調整も収束するものと予想しておりますが、競争激化による販売価格低下や原燃料価格の高止まりもあり、通期の業績見通しにつきましては、売上高は368億円（前回公表数値に対して12億円減）、経常利益は56億円（同6億円増）、当期純利益は30億円（同3億円増）と予想しております。

なお、連結ベースの業績予想については、数字がまとまり次第、公表する予定です。

以 上